

## ファミリーバドミントン

ファミリーバドミントンは、京都府長岡京市で開発されたニュースポーツです。

1988 年に京都国体が開催されたのをきっかけに、競技者だけでなく市民の誰もが気軽に親しめる新種目として、バドミントンコートを利用しルールを一部アレンジしました。その名のとおり親子 3 世代で楽しむことを目的として生まれました。

## 1. 用具

- ラケット＝ファミリーバドミントン用ラケット  
(バドミントン用より短いもの)
- シャトル＝ファミリーバドミントン用シャトル  
(滞空時間を長くするために、スポンジが羽についている)
- ネット＝バドミントン用ネット (高さ 1550mm)

図1 ラケット

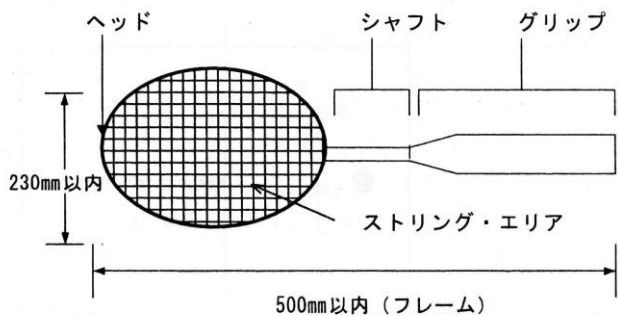
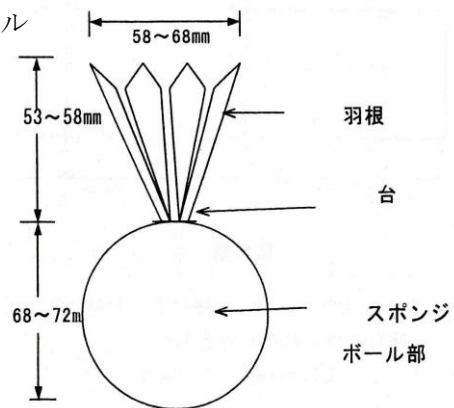


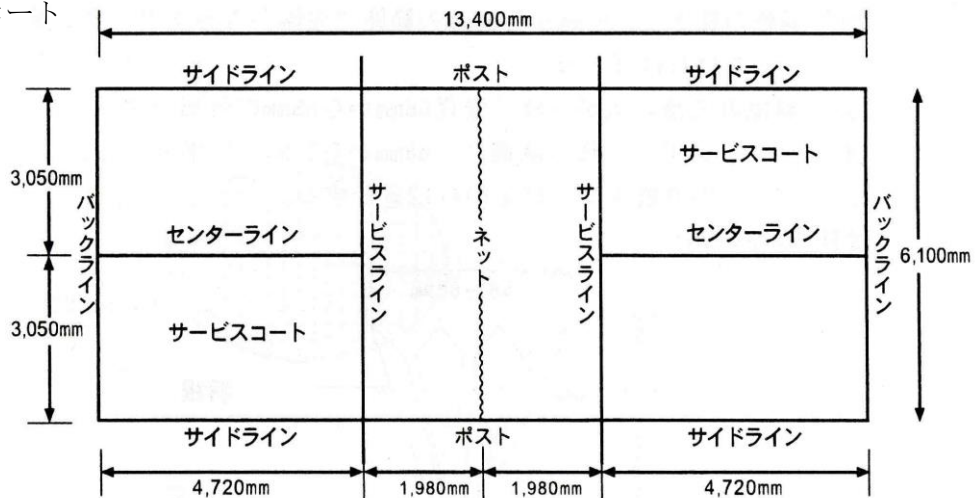
図 2 シャトル



## 2. コー卜

- ・ バドミントンダブルス用コートを使用する。

図 3 コー卜



### 3. 人数

- 試合は、1つのサイドに前衛1名、後衛2名の3人のプレーヤーで行う。チーム構成、人数、プレーヤーの交代等については各大会要項で定める。

(例：6人以上／1チーム。9人以内／1チーム。第1セットに出場したものは、第2セットに出場できない第3セットはフリーで出場できる。)

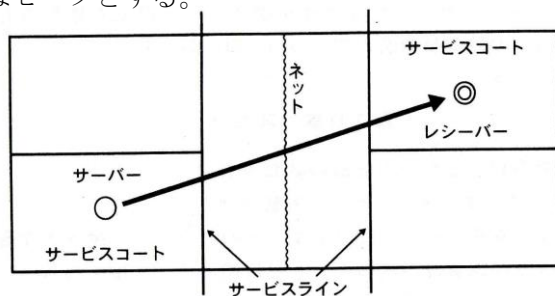
- 主審のホイッスルにより、競技が開始された後の前衛のプレーヤーは、自軍サイドであれば全ての場所からプレーすることができる。
- 主審のホイッスルにより、競技が開始された後（インプレー中）の後衛のプレーヤーは、自軍サイドのサービスライン（その延長線上を含む）を踏むことも踏み越えることもできない。ただし、後衛のプレーヤーが左右に入れ替わることはかまわない。

### 4. ゲームの進め方

#### (1) サービス

- ジャンケンをして勝った方が「サービス」をするか「コート」をとるかを定める。
- サービスは、フォアハンドで腰から下でシャトルを打つこと。
- サービスのとき、軸足（前足）の裏全体がコート面に触れた状態で静止し、サービスをする。
- サービスは、後衛の右側の人が行い相手コートの左側に入れる。シャトルがネットに触れても正しい位置に入ればセーフとする。

図4 サービス



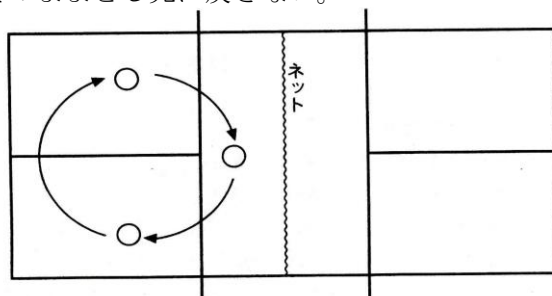
- レシーバーは、後衛右側の人だけが行う。
- 第2・3セットは、前のセットで勝ったチームがサービスをする。

#### (2) プレー位置

##### ・ローテーション

- 相手チームからサーブ権が移ってきた時、時計回りに1つ位置を変わりサービスをする。（前衛から後衛右側に来た人がサービスをする）
- プレーヤーにローテーションの誤りがあったときは、ラリー終了後速やかに正しい位置に戻る。ただし、スコアはそのままとし元に戻さない。

図5 ローテーション



##### ・エンド交替

各セットが終わった時点でチェンジコートを行う。3セット目は、一方のチームが8点に達したときに行う。

(3) ラリー

- ・ シャトルは2回以内で相手サイドへ返す。また、シャトルに触れるのは一人1回とする。
- ・ シャトルを打った瞬間、打点より下にシャトルが下がってはいけない。
- ・ ラリーの時、シャトルをポストの外側（上部延長線上も含む）を通過させて打ってはいけない。

(4) 得点

- ・ 試合は、ラリーポイント制の15点先取で2セット先にとったチームが勝ちとする。
- ・ 得点が14点オールになった場合には、2点先取したチームがそのセットの勝者となる。

(5) フォルト

- ・ サービスのフォルトは次のとおりとする。
  - ① サーバーがラケットでシャトルを打たなかったとき。または、空振りをしてシャトルを打たなかったとき。
  - ② ラインに触れてサービスをしたとき。（ラインクロス）
  - ③ サービスする時、軸足（前足）の裏全体がコート面に触れた状態で静止しなかったとき。（フットフォルト）（1回目は注意、2回目からはフォルトとなる。チームで1回）
  - ④ サービスをフォアハンドで打たなかったとき。腰より下でサービスされなかったとき。
  - ⑤ シャトルが、ポスト及びネットの上を通り、レシーバーのサービスコートに入らなかったとき。
  - ⑥ レシーバー以外のプレーヤーが、シャトルに触れるか打ったとき。

- ・ インプレーのフォルトは次のとおりとする。

「シャトル」

- ① コートの外に落ちたとき
- ② ネットの下を通ったり、2打目で相手コートに入らなかったりしたとき
- ③ プレーヤーの身体または着衣に触れたとき
- ④ ポストの外側を通過したとき

「プレーヤー」

- ① 身体の一部（着衣、ラケットを含む）がポストまたはネットに触れたとき（タッチネット）
- ② ラケットまたは身体の一部が相手コート内に入ったとき（オーバーネット）  
ただし、シャトルを打った後のラケットが、フォロー気味に出てしまったときや、ネット際（下）に落ちてきたシャトルを後衛に上げるとき、ラケットの一部が出てしまうことはやむを得ない。
- ③ 前衛がネットしたラインを踏むか、または踏み越えたとき（ラインクロス）
- ④ 後衛がサービスラインを踏むか、または踏み越えたとき（ラインクロス）
- ⑤ シャトルをラケット上に乗せて運んだとき（ホールディング）
- ⑥ シャトルを3回以上で相手コートへ返したとき（オーバータイムス）
- ⑦ 同じプレーヤーが、2回以上連続して打ったとき（ドリブル）
- ⑧ ラリーのとき、シャトルを打った瞬間、打点より下にシャトルが下がったとき（打ち込み）
- ⑨ ラケットでシャトルが打たれなかったとき
- ⑩ 声や身振りなどの動作をして、故意に相手の注意をそらしたとき（1回目は注意、2回目からはフォルトとなる。チームで1回）

- ・ その他バドミントン競技規則に準ずる

(6) メンバー交代

- ・ 1セット2回まで認められる

(7) レット

レットはプレーを停止させるために主審によってコールされる。

- ・ 隣のコートからシャトルが入ったり、突発的な事故等が発生したりしたとき
- ・ 主審の合図（ホイッスル）より前に、サービスしたとき
- ・ インプレーでシャトルが分解したり、シャトルの形状が正常でなかったりしたとき
- ・ 線審も見えず、主審も判定できなかったとき

5. その他

- ・ 参加者の状況により、「家族」「仲間」同士で安全に楽しめるように大会規則、ルールを定めること。

### ファミリーバドミントンQ&A

**Q1. サービスするときシャトルが腰より下であればラケットを下から振っても横から振ってもよいでしょうか？**

A1. サーバーがシャトルを打つとき、シャトル及びラケットのヘッド及びストリング・エリアはサーバーのウエストライン及びサービスする手の肘・手首より下でなければなりません。横振り、バックハンドは認められていません。

**Q2. 「後衛のプレーヤーは、自軍サイドのサービスラインとその延長線上より前でプレーすることができない」とありますが、これは、試合開始から終了まで前衛のエリアに入れないということでしょうか？それともシャトルを打つときには入れないと言うところでしょうか**

A2. 後衛はインプレー中、シャトルを打っても打たなくても、サービスライン（延長線上も含む）を踏むかまた、踏み越えてはなりません。

**Q3. サーブをするとき空振りしてしまいました。再度サーブは出来ますか？**

A3. できません。フォルトになります。

**Q4. レシーバーがレシーブ時にサービスラインを踏んでしまったが打たなかった。その後、シャトルはアウトゾーンに落ちました。その場合どちらのポイントになりますか？**

A4. サービス側のポイントとなります。後衛はインプレー中、シャトルを打っても打たなくてもサービスライン（延長線上を含む）を踏むかまた、踏み越えてはなりません。

**Q5. コートのラインとシャトルのスポンジ部分が、少しでも重なっていればオンラインとなり、インと判定すればよいのですか？**

A5. 「イン」と判定します。

**Q6. 2 回目に打ったシャトルがネットに当たって自陣内に跳ね返ってきたとき、もう一回打つことは出来ますか？**

A6. できません。（2 打以内に相手コートに返さなければなりません。シャトルに 2 回以上連続して触れることも出来ません）

**Q7. スマッシュ行為の判断は？また、ドロップショット、ドライブ、前衛のブロック的なショット等もスマッシュ行為になりますか？**

A7. ラリーのとき、シャトルを打った瞬間、打点より下にシャトルが下がったときはすべてスマッシュと判断します。スマッシュ行為がどうかの判断は、シャトルのスピードに関係なく水平線を基準として、打点より下に下がったかどうかで判断して下さい。また、ドロップショット、ドライブ、ブロック的なショットも同じ基準で判断してください。

**Q8. 床すれすれのところでシャトルを拾ったとき、ラケットの一部が床に付いてしまいました。シャトルは空中にありましたが「フォルト」になりますか？**

A8. 前衛はオールコートなのでフォルトになりません。後衛はサービスライン上または、サービスラインより前で床につくとフォルト、サービスラインより後ろであればフォルトになりません。

**Q9. サービスをするとき両足を揃えて打った場合、フットフォルトを見るのはどちらの足を見ればいいのでしょうか？**

A9. 両足を揃えて打つなど、一見して軸足の区別がつかない打ちかたの場合は、両足を見て片方の足の裏全体がコートに触れた状態で静止していれば良い。

**Q10. 反則があった場合、ハンドシグナルを行ってから反則者を指すのか、反則者を指してからハンドシグナルを行うのか？**

A10. 笛を吹いて、ハンドシグナルを行ってから反則者を指してください。

**Q11. 後衛がサービスラインを越えないで、前衛のラケットや身体に触れた場合はフォルトになりますか？**

A11. フォルトになります。ただし、前衛がサービスラインより後ろで後衛に触れた場合はフォルトになりません。

**Q12. プレー中シャトルが破損した場合、どうすればいいですか？**

A12. インプレーでシャトルが分解したり、シャトルの形状が正常でなかったりしたときは「レット」となります。

**Q13. サーブまたはレシーブの順番を間違え、そのままゲームが進んだ場合、審判としてどうすればいいですか？**

A13. 気がついた時点でラリー終了後、速やかに正しい位置に戻します。ただしスコアはそのままとします。

**Q14. プレー中他のコートのシャトルが入ってきた場合、どうすればいいですか？**

A14. レットとなります。

**Q15. 試合中のプレーヤーにアクシデントが発生しましたが、審判が気付かなかったので、プレーヤーが試合を止めた場合はどうすれば良いですか？**

A15. プレーヤーは試合を止められないので、フォルトになります。アクシデントの対応は主審の判断になります。